

KDC シリーズ資料 バーコードの一部分の照合

列 A : 付属ソフト KTSync から KDC 本体に設定を行い対応可能(KDC シリーズすべて対応)

列 B : KDC300 のみ対応 (KDC100、KDC200 は非対応)

		A		B	
No.	マスターバーコード (照合元)	読み取り データ	KDC100 KDC200 KDC300	読み取り データ	KDC300
1	 *123456*	<u>123456</u>		<u>123456</u>	
	スレーブバーコード (照合先)	読み取り データ	照合結果	読み取り データ	照合結果
2	 *A123456*	<u>A123456</u>	OK	<u>123456</u>	OK
3	 *B123456*	<u>B123456</u>	OK	<u>123456</u>	OK
4	 *C1234567*	<u>C1234567</u>	OK	<u>123456</u>	OK
5	 *DEF123456*	<u>DEF123456</u>	Failed(NG)	<u>123456</u>	OK

【説明】

列 A は、スレーブの 2 桁目から 6 桁分の照合を行った結果です。

そのため No.5 は NG になります。

No.2~4 を照合 OK にし、さらに桁位置が異なる No.5 も OK にしたい場合、KDC300 のデータ編集で「123456」のみ読み込むように設定することで OK にできます。

データ編集の条件は、桁数が決まっていることなどです。

列 B は、No.2~5 も照合 OK にするため、次の編集設定を行っています。

- ・バーコードが 7 桁なら、2 桁目から 6 桁読み込む
- ・バーコードが 8 桁なら、2 桁目から 6 桁読み込む
- ・バーコードが 9 桁なら、4 桁目から 6 桁読み込む

KDC300 のデータ編集設定は、特別なメニューコードの作成が必要です。

注) 条件によっては対応できない場合もございます。

詳細は弊社までお問い合わせ下さい。